

学校だより

垂水市立垂水中央中学校

校訓「創造」「感動」「鍛錬」

令和4年度 第11号 (2月16日発行) 校長 亀山 浩一

臥薪嘗胆

先日の全校朝会で「臥薪嘗胆」の話をしました。

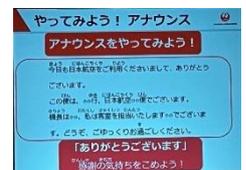
中国の春秋時代、紀元前5世紀の頃、「呉」という国と「越」という国の争いに由来します。「越」との戦いに敗れ、父を失った「呉」の王様が、負けた悔しさや屈辱、復讐を忘れないために、夜寝るときに堅い薪(たきぎ)の上に寝て痛みを感じて過ごしました。(臥す:寝ること)数年後、「呉」が「越」に攻め込み、「越」の軍を破り勝利しました。

戦いに敗れた「越」の王様は捕虜となり、馬小屋の番人などをさせられ苦勞を重ねます。何年か後にやっと許され、帰国します。「越」の王は民衆と共に富国強兵に励み、また、負けた恥や屈辱を忘れないように苦い熊の肝を毎朝なめて過ごしました(嘗胆:肝を嘗める)。戦に破れて20年後、「越」が「呉」をようやく討ち果たしました。このように、目標達成のために悔しさをバネに苦勞に耐え努力し、次の戦いに挑戦することを「臥薪」と「嘗胆」を合わせて「臥薪嘗胆」といいます。

ちなみに「呉」と「越」を使った四字熟語があります。「呉越同舟(ごえつどうしゅう)」です。

「呉」と「越」のように仲の悪いもの同士が同じ船に乗り合わせる事、同じ場所に居合わせる事です。孫子は、「もし、呉と越の両国の人が同じ船に乗り合わせていたとき、暴風に襲われ、船が転覆しそうになれば、呉の人も越の人も普段の遺恨を忘れ、船が沈まないよう互いに助け合ったに違いない」という話から、敵同士であっても同じ目的や共通の困難のために協力することを「呉越同舟」と言うようになりました。現代では、仲の悪いもの同士が居合わせることも「呉越同舟」といいます。

「臥薪嘗胆」、部活動をしている人は次の大会に向けて、3年生は公立受検に向けて、目標達成のために努力し、次の戦いに挑戦していきましょう。



JALふるさとアンバサダー講座

この講座は、JALの客室乗務員が故郷や縁のある地域に対して、これまで培ってきた知見を活かし、商品開発や地域課題の解決などを展開する事業です。1月下旬に市文化会館で開かれた講座には、酒井麻衣さん(長崎県出身、リードキャビンアテンダント)と持木絹代さん(埼玉県出身、以前はオーストラリアに住み、現在は奄美大島在住)の2人に来ていただきました。

講座は質問形式・体験形式で行われ、生徒を飽きさせない時間となりました。飛行機が飛ぶ高さは・・・約10,000m(富士山3つ分)、富士山の朝焼けはとてもきれい。飛行機の燃料はどこに入っているか・・・翼の中(胴体部分には貨物)、飛行機の燃料は・・・ケロン(灯油みたい)。海外基地乗務員の拠点は何か所・・・8(ロンドン、フランクフルト、上海、香港、シンガポール、台北、バンコク、マニラ)、乗務員の5人に1人は外国籍(会話の基本は英語+日本語)、垂水市のカンパチを国内、海外の空港でPR(タイやバンコクには当日届く)。客室乗務員の仕事は・・・命を守る保安要員とサービス要員。海外の滞在先での思い出・・・メジャーリーグ観戦、サクラダファミリア見物など。客室乗務員を目指したきっかけ・・・学生時代のバイトで接客に魅力を感じたこと、短期留学に3回行ったこと。大変なところ・・・時差により睡眠不足になる、いつでもどこでも寝られる人。などQ&A方式の後、離陸時のアナウンスを体験・練習した後、マイクを使って代表が発表しました。

最後に、仕事上で大切にしていること・・・JALの乗務員6,500人いる。初めてチームを組む乗務員が多い。チームワークがとても大切、人を思いやれる人になってくださいと講座を締めくくりました。これから社会に出る生徒たち、キャリア教育のいい体験になったと思います。

表彰

第62回新春書き初め会

金賞 3年3組 井之上 史歩
銅賞 3年2組 井之上 沙弥

第28回川畑杯ソフトテニス大会

2年男子【優勝】男子ソフトテニス部

垂水市若草文学賞

優秀賞 3年3組 川畑 凜香子
2年1組 白窪 結依、藤山 明かり



日	曜	3月の主な行事
2	木	公立高等学校入学者選抜(～3日)
2	木	1,2年クラスマッチ
3	金	1,2年PTA
13	月	公立高等学校追加の選抜
14	火	第13回卒業式
15	水	公立高等学校合格者発表
16	木	生徒会専門部代議員会
23	木	公立高等学校第二次入学者選抜
24	金	修了式 二次選抜合格発表
28	火	辞任式